

令和7年度全国高等学校総合体育大会
第75回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会

実施要項

主 催	公益財団法人全国高等学校体育連盟 公益財団法人日本スケート連盟 公益財団法人日本アイスホッケー連盟 栃木県 栃木県教育委員会 宇都宮市 宇都宮市教育委員会 日光市 日光市教育委員会
共 催	読売新聞社
後 援	スポーツ庁 公益財団法人日本スポーツ協会 NHK 公益財団法人栃木県スポーツ協会 宇都宮市スポーツ協会 日光市スポーツ協会
主 管	公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部 栃木県高等学校体育連盟
協 賛	栃木県スケート連盟 栃木県アイスホッケー連盟 株式会社日本旅行

1 会 期

区 分	競 技 名	期 日
開 始 式	ス ピ ー ド 競 技 フ ィ ギ ュ ア 競 技 アイスホッケー競技	令和8年1月22日(木) 令和8年1月23日(金) 令和8年1月22日(木)
競 技	ス ピ ー ド 競 技 フ ィ ギ ュ ア 競 技 アイスホッケー競技	令和8年1月23日(金)～1月26日(月)

2 会 場

区 分	競 技 名	会 場
開 始 式	ス ピ ー ド 競 技 フ ィ ギ ュ ア 競 技 アイスホッケー競技	日光市霧降スケートセンター(日光市) 宇都宮市スケートセンター(宇都宮市) 日光市霧降スケートセンター(日光市)
競 技	ス ピ ー ド 競 技 フ ィ ギ ュ ア 競 技 アイスホッケー競技	日光市霧降スケートセンター(日光市) 宇都宮市スケートセンター(宇都宮市) 栃木県立日光霧降アイスアリーナ(日光市) 古河電工細尾ドームリンク(日光市)

3 競技種別

(1)スピード競技

種 別	距 離					団 体 種 目	
男 子	500m	1000m	1500m	5000m	10000m	2000mリレー	チームパシュート (8周)
女 子	500m	1000m	1500m	3000m		2000mリレー	チームパシュート (6周)

(2)フィギュア競技

男 子	シングルスケーティング
女 子	シングルスケーティング

(3)アイスホッケー競技(男子)

男 子	学校別トーナメント
-----	-----------

4 競技日程

	スピード競技	フィギュア競技	アイスホッケー競技
23 (金)	① 男子 5000m ② 女子 500m ③ 男子 500m	女子予選 Aグループ ショートプログラム	1回戦
24 (土)	① 女子 3000m ② 男子 1000m ③ 女子 1000m	女子予選 Bグループ ショートプログラム 男子予選 ショートプログラム	2回戦
25 (日)	① 男子 10000m ② 女子 1500m ③ 男子 1500m	女子予選 Cグループ ショートプログラム 男子決勝 フリースケーティング	3回戦 準決勝
26 (月)	① 女子 2000m リレー ② 男子 2000m リレー ③ 女子チームパシュート ④ 男子チームパシュート	女子決勝 フリースケーティング	決勝

5 競技規程

令和7年度公益財団法人日本スケート連盟(以下「日本スケート連盟」という)、公益財団法人日本アイスホッケー連盟(以下「日本アイスホッケー連盟」という)競技規則・規程並びに本大会要項によるほか、公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部(以下「スケート専門部」という)規程による。

6 競技方法

(1) スピード競技

ア 男子、女子ともにチームパシュートレースを除く各距離及び種目は、ダブルトラックで競技を行う。その競技場は、標準トラックとする。また、全ての距離・種目は、タイムレースで順位をつける。

イ 男子、女子ともに 1000m 以上の距離は、カルテットスタートの競技方法を採用する。

ウ 各距離の組み合わせ

※ 文中の「タイムランキング」とは前年度及び当年度に開催された、国際競技会を含む日本スケート連盟公式競技会における当該距離の自己最高タイム(令和7年12月24日水曜日までに処理されたもので高地を除く)でつけられた順位を指す。同タイムの選手及びタイムのない選手は抽選により順位づけられる。

①各距離の組み合わせはタイムランキングによって編成される。これらは、監督会議にて棄権者の確認後に編成される。

②スタート順は、タイムランキング下位の組から滑走する。

(今大会に限り、男子 10000m のみタイムランキング上位の組から滑走する)

③組み合わせ確定後、各種目開始予定時刻 1 時間前までに棄権者が出了場合は再編成を行う。

④選手変更は、その距離・種目開始予定時刻の 1 時間前まで行うことができる。補欠選手は当該校の選手の位置と入れ替わるものとする。

エ 各団体種目の組み合わせ

①2000m リレーの組み合わせは、リレーにエントリーされた選手の 500m ベストタイム上位 4 選手の平均タイムでランキングを作成し編成される。

②チームパシュートレースの組み合わせ方法は、男子・女子ともに学校毎の 1500m にエントリーされた選手数によりグループ分けをし、グループ内でランキングを作成し編成される。組み合わせ確定後、棄権が出た場合の再編成は原則しない。グループ分け、及びグループ内での組み合わせは以下の通りとする。

■ Aグループ：1500m に 2 名エントリーの学校。

ランキングは 1500m にエントリーされた選手の下位者のベストタイムで行う。

■ B グループ：1500m に 1 名エントリーの学校。

ランキングは 1500m にエントリーされた選手のベストタイムで行う。

■ C グループ：1500m へのエントリーのない学校。ランキングは抽選で行う。

■ スタート順：C グループから滑走し、次に B グループの下位の組から A グループ上位の組まで続く。

③リレー競技については安全上の観点から大会実行委員会による事前抽選を行い抽選後にHP上に公開する。

オ 団体種目に出場する場合は、安全対策として、ヘルメット(ショートトラック競技の基準に適合するもの)

・ネックプロテクション・シンガード・アンクルプロテクション・手袋(皮もしくはカットレジスタンス素材)の着用を義務付ける。なお、レーシングスーツは、カットレジスタンスであることが望ましい。ブレードは、両端を丸くカットであること。

カ 各距離 24 位までと、各団体種目の 12 位までに 1 点を与える。

キ 入賞は各距離、各団体種目 8 位までとし、得点は 1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点、4 位 5 点、5 位 4 点、6 位 3 点、7 位 2 点、8 位 1 点を与える。

ク 男女各総合(学校対抗)順位は、各距離、各団体種目の得点を学校別に合計し、その合計点により順位を決定する。但し、同点の場合は、総合 6 位以内に限り上位入賞の多い学校を上位とする。その決定は、より上位を有する数による。

(2) フィギュア競技

ア 競技は予選、決勝方式により行う。

【予選】ショートプログラムにより行う。ISU規程(ジュニア)に準ずる。

【決勝】フリースケーティングにより行う。ISU規程(ジュニア)に準ずる。

イ 選抜方法

① 男子クラス・女子クラス予選の得点のそれより上位 24 位までの選手が決勝に進出する。

② 参加人数が、男子クラス・女子クラスそれより多い場合は、2 つ以上のグループに分けて予選を行う。

③ 予選のグループ分け方法

当該年度の全日本フィギュアスケート選手権大会出場、全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会上位 12 位以内、前年度の本大会上位 12 位以内の選手を、前記大会順、入賞順に各グループに振り分け、それ以外の選手は、バッジテスト級ごとにそれより抽選で各グループに振り分ける。グループ分けの抽選は、技術代表、スケート専門部及び実行委員会事務局の責任において事前に実施される。グループ分け後に棄権者がいる場合でも、グループの再編成は行わない。

ウ 採点方法

ISUジャッジングシステムで行う。

エ 滑走時間

【予選】ショートプログラム (2 分 40 秒±10 秒)

【決勝】フリースケーティング (3 分 30 秒±10 秒)

オ 成績

①個人成績決勝進出者については、予選の得点と決勝の得点の合計点により個人順位を決定する。同点の場合は、フリースケーティングの得点が高い選手を上位とする。決勝へ進出できなかった者については、決勝進出者の最後の順位に続けて、予選の得点により個人順位を決定する。同点の場合は、技術点の高い者を上位とする。

②総合成績(学校対抗)

個人順位の逆転法(最下位の順位点を 1 点とし順位が一つ上がるごとに 1 点ずつ加点していく)により個人に順位点を与え、順位点を学校別に集計し、総合順位を決定する。ただし、同点の場合は個人順位の上位者のいる学校を上位とする。

(3) アイスホッケー競技

ア トーナメント競技方法により、1 位、2 位、3 位(2 校)までを決定する。

イ 組み合わせ抽選は、参加校代表者、スケート専門部、栃木県アイスホッケー連盟、大会実行委員会合同での事前抽選とする。

ウ 組み合わせ抽選の際、前回大会 1 位、2 位、3 位(2 校)の学校をシードし、地区は考慮しない。

7 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 但し、各都道府県における規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

【補足事項】

- (1) スピード競技の引率責任者は、当該校の職員または部活動指導員(以下「職員等」という)とする。但し、やむを得ない事情により当該校の職員等が引率できない場合は、当該校校長から委嘱された他校の職員等が引率することができるが、その際には参加申し込みに委嘱状の写しを添付すること。監督・コーチは当該校校長が認める指導者とし、当該校校長から委嘱された外部指導者も認める。その際、引率責任者と十分な打ち合わせをすること。
- (2) フィギュア競技の引率責任者は監督を兼任し、当該校の職員または部活動指導員(以下「職員等」という)とする。但し、やむを得ない事情により当該校の職員等が引率できない場合は、当該校校長から委嘱された他校の職員等が引率することができる。その際は申込時に委嘱状の写しを添付すること。コーチ(インストラクター)は当該校校長が認める指導者とし、当該校校長から委嘱された外部指導者も認める。その際、引率責任者と十分な打ち合わせをすること。
- (3) アイスホッケー競技の引率責任者は監督を兼任し、当該校の職員とする。
- (4) 引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

8 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
- (2) 選手は各都道府県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該実施要項により全国大会の参加資格を得たものに限る。ただし、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。また、選手は、各都道府県スケート連盟、アイスホッケー連盟を通じてそれぞれ日本スケート連盟または日本アイスホッケー連盟に登録された者であること。
- (3) 年齢は平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、スケート専門部が責任を持って調整・確認する。) 大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- (4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は、複数校合同チーム参加ガイドラインの編成基準を満たしているチームの参加を認める。
- (6) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前6ヶ月が経過し出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合にはそのルールに従って変更を認める。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
- ア 上記の(1) (2)に定める生徒以外で、大会参加資格を満たすと判断され、かつ都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定にしたがい大会参加を認める。
- イ 上記の(3)ただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の場合は、同一競技3回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加を認める条件
 - ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失すことなく、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9 参加制限

(1) スピード競技

- ア 出場は1校1距離2名以内とし、補欠は1名とする。また個人の出場制限は団体種目を除き2距離以内とし、補欠も1距離と見なす。※1選手の最大エントリー数は個人2距離の他、各団体種目の計4種目である。
- イ 2000mリレーの登録は6名以内とし、出場者はそのうちの4名とする。
- ウ チームパシュートの登録は4名以内とし、出場者はそのうちの3名とする。
- エ 申し込み選手のほか、男女別に監督1名及びコーチ1名以内とする。
- オ スピードスケートまたはショートトラックのバッジテストC級以上の資格取得者であること。
(各都道府県で有効期限を確認しておくこと)
- カ 外国人留学生については、1校男女各1名とする。

(2) フィギュア競技

ア 共通の参加制限

- ①令和7年9月10日までに「選手事前エントリー(参加意思確認調査)」の提出が無き場合、その理由の如何を問わず参加は一切認められない。
- ②令和7年9月1日現在、所属の都道府県高体連に登録していること。また、日本スケート連盟フィギュアスケーティングバッジテスト6級以上の資格取得選手であること。ただし、下記「イ」の参加人数制限を課す。男子または女子において6級以上の資格による出場者がいない都道府県については、都道府県保証枠として男女それぞれ1名の選手の出場を5級取得者に限り認める。
- ③出場は、1校男女それぞれ、選手3名、補欠1名以内とする。補欠との選手交代は、変更届を学校から実行委員会へ届け出た場合のみ認める。(令和8年1月9日(金)正午まで)
- ④申し込み選手のほか、監督は参加校ごと、男子クラス・女子クラスともにそれぞれ1名以内、コーチ(インストラクター)は参加選手1名に対し1名以内とする。監督・コーチ等に変更がある場合は変更届を学校から実行委員会へ提出すること。
- ⑤外国人留学生については1校男女各1名とする。

イ 参加人数制限

- ①参加人数は、男子最大48名、女子最大108名とする。
- ②参加人数の内訳は、下記(a)～(d)の通りとする。

(a) 参加都道府県保証枠

各都道府県に男子女子それぞれ 1 名の出場枠を与える。

(b) 日本スケート連盟推薦枠

下記の条件を満たす場合、推薦出場枠を与える。

- ・前年度の全国高等学校スケート競技選手権大会フィギュア競技 12 位以内
- ・前年度の全日本フィギュアスケート選手権大会 12 位以内
- ・前年度の全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会 12 位以内
- ・日本スケート連盟からの特別推薦者

(c) 開催地都道府県枠

(d) 比例配分枠

(c) (d) については、全国高体連スケート専門部が別途に定める算定基準に従い、配分する。

(3) アイスホッケー競技

- ア 申し込み選手のほか、監督 1 名、コーチ 1 名、トレーナー 1 名以内とする。但し、チーム事情によりトレーナー 1 名をコーチにしてもよい。
- イ 各ブロックで予選を行い、代表校を決定する。出場校は各ブロックからの代表 26 校と開催地推薦校を加えたチームとする(北海道ブロック 8 校、東北ブロック 5 校、関東ブロック 7 校、北信越・東海・近畿ブロック 5 校、中国・四国・九州ブロック 1 校)。
- ウ 1 学校 1 チーム若しくは合同チームガイドラインに則ったチームとし、1 チーム競技出場者はゴールキーパー 1 名以上 2 名以内を含めて 22 名以内とする但し、試合開始時に最低 5 名のスケーターと 1 名のゴールキーパーを氷上に送り出すことができなければならない。
- エ 選手は全面を覆うフェイスマスク、ネックガード、マウスピースを着用すること。
- オ 外国人留学生については競技出場 2 名以内とする。

10 参加申込

(1) 申込期限

ア 原本の送付については、令和 7 年 12 月 24 日（水）消印有効

イ データ送信については、フィギュア競技（様式 F1, F2）が令和 7 年 12 月 12 日（金）正午必着
その他は、令和 7 年 12 月 24 日（水）正午必着

(2) 申込先

〒320-8501

栃木県宇都宮市塙田 1-1-20(栃木県教育委員会事務局健康体育課内)

令和 7 年度全国高等学校総合体育大会

第 75 回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会

栃木県実行委員会事務局 宛

T E L : 080-7175-0767 F A X : 028-623-3574(健康体育課)

e-mail : fukudat2501@pref.tochigi.lg.jp

(3) 申込方法

ア 各参加校大会ホームページ(<http://>)※10 月開設予定 より各申込用ファイル(学校別申込用、各競技用)をダウンロードして書類を作成し、各都道府県申込責任者に参加料等を添えて提出すること。同時に、各ファイル及び写真を指定のファイル名にして電子メールにて添付送信すること。また、宿泊等申込書は取り扱い業者(日本旅行)にも電子メールを送付すること。詳細は「宿泊・昼食弁当要項」に記載する。

①学校別参加申込 ファイル(○○県○○高校. xlsx)

【様式 G】 学校別参加申込書(3 競技をとりまとめて 1 部)

「委嘱状」について

当該学校長から委嘱された他校の教職員が引率する場合は、委嘱状の写しを添付すること。

②スピード競技申込 ファイル(S○○県○○高校. xlsx)

プログラム掲載用写真(チーム写真、横長)→S○○県○○高校. jpg

【様式 S1-1】 スピード競技出場申込書(男子)

【様式 S1-2】 スピード競技出場申込書(女子)

【宿泊 S2】 スピード競技宿泊等申込書

【様式 S3】 スピード競技最高記録確認依頼届

他に各参加者は、JSF マイページ (<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>) の競技会参加申込サイトからオンライン申込をすること。システムへの入力については、12月24日(水)正午で終了しその後の入力はできない。「各距離の補欠」「2000mリレー」「チームパシュート」についても入力する。

「タイムランキング」について

データの締め切り後各距離のタイムランキングを大会ホームページに掲載する。各校の記載責任者は、期間中(1月1日～1月3日)に最高タイムを確認し、ランキングのタイムに誤りがある場合は、スピード競技最高記録確認依頼書【様式 S3】を1月4日までに電子メールで事務局に送信すること。なお、期限までに確認依頼がされない場合タイムの訂正はしない。

③フィギュア競技申込 ファイル (F○○県○○高校.xlsx)

【様式 F1-1】 フィギュア競技出場申込書(男子)

【様式 F1-2】 フィギュア競技出場申込書(女子)

【宿泊 F2】 フィギュア競技宿泊等申込書

他に各参加者は、JSF マイページ (<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>) に下記3項目の登録を行うこと。登録期間は、令和7年12月1日(月)～12月12日(金)正午まで。ただし、演技予定要素リストについては、令和8年1月9日(金)までとする。

1) オンライン申込(競技会参加申込サイト)

2) プログラム掲載用写真(制服姿が望ましい)

3) 演技予定要素リスト

④アイスホッケー競技申込 ファイル (H○○県○○高校.xlsx)

プログラム掲載用写真(チーム写真、横長)→H○○県○○高校.jpg

【様式 H1】 アイスホッケー競技出場申込書

【宿泊 H2】 アイスホッケー競技宿泊等申込書

【様式 H3】 組み合わせ抽選会議参加確認用紙

イ 各都道府県申込責任者は参加校の関係書類を確認の上、大会ホームページより書類(各都道府県用)をダウンロードして書類を作成し、参加校の書類と合わせて所属高等学校体育連盟会長を経由して送付すること。同時に都道府県別ファイルを電子メールにて添付送信すること。

①都道府県別申込ファイル(○○県.xlsx)

【様式 P1】 申込送付書及び送金確認書

【様式 P2】 都道府県選手団申込一覧表

【様式 P3】 参加選手団連絡票

【宿泊 P4】 役員・観察員宿泊等申込書

②参加料、プログラム代金及び大会報告書代金の送金は銀行振込とし、銀行で発行された振込金受領書のコピーを必ず【様式 P1】の裏面に貼付すること。送金の際には、実行委員会が指定した口座に電信扱いで振り込むこと(振込手数料は申込者の負担とする。)また、送金依頼人名は都道府県名がわかるようにすること。なお、実行委員会からは、各参加校の参加料・プログラム代金等の領収書は発行しない。

ウ 申込書類の送付は、発送記録が残る方法(書留等)で行うこと。

エ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備があるものは受け付けない。

オ 大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

1.1 参加料

(1) スピード競技

1名1距離ごとに4,500円(団体種目は除く)。但し補欠選手の参加料は徴収しない。

(2) フィギュア競技

1名 4,500円。但し補欠選手の参加料は徴収しない。

(3) アイスホッケー競技

1チーム 45,000円

(4) 納入

申込と同時に納入すること。参加の取り消しがあっても返金しない。

(5) 振込先

指定銀行 : 足利銀行 県庁内支店(アシガギンコウ ケンチョウナイシテン)

預金口座 : 店番 102 普通 口座番号 5515047

口座名義 : 令和 7 年度全国高等学校総合体育大会第 75 回全国高等学校スケート競技・
アイスホッケー競技選手権大会栃木県実行委員会 会長 大牧 稔
(レイナネットゼンコクコウトウガッコウソウゴウタイイクタイハイガッカジュウゴカイゼンコクコウトウガッコウスケートキョウギ・
アイスホッケー競技センシュケンタイハイチギケンジッコウイインカハイヨウオオマキミノル)

(6) プログラム

1 部 2,000 円で販売する。代金は参加申込と同時に納入すること。ただし、アイスホッケー競技参加校には 2 部無償配布する。

(7) 大会報告書

1 部 2,500 円(送料含む)で販売する。代金は、参加申込と同時に納入すること。

1.2 表彰

(1) スピード競技

ア 男女別に総合(学校対抗) 6 位までに賞状、優勝校には(公財)全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、(公財)日本スケート連盟会長杯(以上持ち回り)、N H K 杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 男女別に各距離、各団体種目の 8 位までに賞状、3 位までに入賞メダルを授与する。

(2) フィギュア競技

ア 男女別に総合(学校対抗) 6 位までに賞状、優勝校には(公財)全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、(公財)日本スケート連盟会長杯(以上持ち回り)、N H K 杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 男女別に個人 8 位までに賞状、3 位までに入賞メダルを授与する。

(3) アイスホッケー競技

ア 3 位(2 校)までに賞状、優勝校には(公財)全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、(公財)日本スケート連盟会長杯(以上持ち回り)、N H K 杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 3 位までの各選手に賞状と入賞メダルを授与する。

1.3 宿泊・弁当

申込については、必ず取り扱い業者「日本旅行 宇都宮支店」を経由すること。

スピード競技(speedskating_interhigh75@nta.co.jp)

フィギュア競技(figureskating_interhigh75@nta.co.jp)

アイスホッケー競技(icehockey_interhigh75@nta.co.jp)

宿泊については、「宿泊・昼食弁当要項」による。(申込締切: 令和 7 年 12 月 24 日(水)正午)

1.4 輸送

輸送については「輸送要項」によるが、計画輸送は行わない。輸送要項を参考に各校で移動計画を立てること。

1.5 医療救護

医療救護については、「医療救護要項」による。

16 諸会議

競 技	名 称	日 時 (令和8年)	会 場
ス ピ ー ド競技	抽選会議	1月 5日 (月) 14時00分	栃木県立日光明峰高等学校 会議室
	監督会議	1月 22日 (木) 11時30分	日光市霧降スケートセンター 団体休憩室
フィギュア競技	抽選会議	実施しない	滑走順・諸注意を 大会ホームページに掲載
	監督会議		
アイスホッケー競技	抽選会議	1月 6日 (火) 14時00分	栃木県立日光明峰高等学校 会議室
	監督会議	1月 22日 (木) 15時00分	日光市霧降スケートセンター 団体休憩室

※フィギュア競技の「女子のグループ分け」及び「滑走順抽選」は、技術代表、全国高体連スケート専門部及び栃木県実行委員会にて事前に実施し、大会ホームページに掲載する。女子のグループ分けは、令和7年12月17日(水)、滑走順は、令和8年1月9日(金)正午以降、掲載予定。

17 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについては「令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」による。

18 連絡事項

- (1) 諸事情により不参加が決定した学校は、速やかにその旨を実行委員会に連絡すること。
- (2) 各競技の練習時間は、実行委員会で割り当てる。
- (3) スピード競技出場者は、日本スケート連盟登録競技者証及びバッジテスト認定書を持参すること。
- (4) フィギュア競技の引率責任者は、ショートプログラム競技で使用する音楽録音媒体を、競技会場に到着後すぐに、受付に提出すること。フィギュア競技で使用する音楽録音媒体は、CDとする。録音媒体には、学校名・選手名を明記すること(シール等を媒体に貼付しないこと。)また、万一に備えて、予備のCDを必ず用意しておくこと。
- (5) フィギュア競技出場者は、大会期間中フィギュアスケーティングバッジテスト受験者手帳を携帯すること。
- (6) 貴重品の管理については、各自の責任において行うこと。

19 実行委員会事務局

(1) 令和7年6月27日(金)から令和8年1月20日(火)まで
〒320-8501
栃木県宇都宮市塙田1-1-20 栃木県教育委員会事務局健康体育課内
令和7年度全国高等学校総合体育大会

第75回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会
栃木県実行委員会事務局

T E L : 080-7175-0767 F A X : 028-623-3574(健康体育課)
e-mail : fukudat2501@pref.tochigi.lg.jp

(2) 令和8年1月21日(水)から令和8年1月26日(月)まで
○日光事務局
〒321-1421

栃木県日光市所野2854番地 日光市霧降スケートセンター内
令和7年度全国高等学校総合体育大会
第75回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会
栃木県実行委員会日光事務局
T E L : 080-7175-0767
e-mail : fukudat2501@pref.tochigi.lg.jp

○宇都宮事務局

〒321-0117

栃木県宇都宮市城南3丁目15-32 宇都宮市スケートセンター内

令和7年度全国高等学校総合体育大会

第75回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会

栃木県実行委員会宇都宮事務局

T E L : 080-7187-9987

e-mail : nomurat2401@pref.tochigi.lg.jp

20 各会場の所在地

区分	会場名	住所
開始式(スピード競技・アイスホッケー競技)	日光市霧降スケートセンター 団体休憩室	〒321-1421 日光市所野 2854 番地
開始式(フィギュア競技)	宇都宮市スケートセンター	〒321-0117 宇都宮市城南3丁目15-32
スピード競技	日光市霧降スケートセンター	〒321-1421 日光市所野 2854 番地
フィギュア競技	宇都宮市スケートセンター	〒321-0117 宇都宮市城南3丁目15-32
アイスホッケー競技	栃木県立日光霧降アイスアリーナ 古河電工細尾ドームリンク	〒321-1421 日光市所野 2854 番地 〒321-1445 日光市細尾町 676-12

21 大会ホームページ

<https://tochigi-koutairen.jp/r7-75-inter/>

